

# 国際かんがい排水委員会(ICID) 第73回国際執行理事会の対応方針等について

農村振興局

令和4年9月28日

農林水産省



# 目 次

## 【審議事項】

|                                           |   |
|-------------------------------------------|---|
| ICID第24回総会及び第73回国際執行理事会(IEC)の対応方針(案)..... | 1 |
|-------------------------------------------|---|

## (参 考)

|                      |   |
|----------------------|---|
| ICID日本国内委員会について..... | 4 |
|----------------------|---|

|                   |   |
|-------------------|---|
| ICID副会長選について..... | 5 |
|-------------------|---|

## 【報告事項】

|                     |   |
|---------------------|---|
| 世界かんがい施設遺産について..... | 7 |
|---------------------|---|

# ICID第24回総会及び第73回国際執行理事会(IEC)の対応方針(案)

- 国際かんがい排水委員会(ICID)は、かんがい排水に係る科学的、技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関(本部:インド(ニューデリー))。
- 毎年、国際執行理事会及び常任委員会や各種作業部会等が開催され、各国国内委員会委員が参加し、ICIDの政策・運営等に関する議論、技術・情報の交換等を行う。
- 通常は、国際執行理事会と合わせて、3年に一度、総会、地域会議、世界かんがいフォーラムをローテーションで開催。今年は総会と同時開催。

総 会

地域会議

(アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカの4地域に分かれて会議を開催)

世界かんがいフォーラム (WIF)



国際執行理事会 (毎年開催)

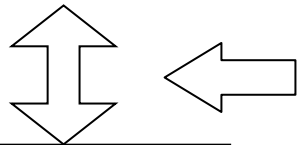
常任委員会(技術活動委員会、財務委員会等)

委員会(総会組織委員会、ICIDジャーナル編集委員会等)

地域作業部会(アジア地域作業部会等)

作業部会／タスクフォース

(灌漑システム部会、気候変動部会、WWF9タスクフォース等)



日本国内委員会

農業農村振興整備部会

ICIDに関する事項、かんがい排水の改良発達に関する重要事項等を調査・審議

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の収集・発信

委員 : 渡邊紹裕委員長 (京都大学名誉教授) 等 18名

事務局 : 農林水産省農村振興局整備部設計課

# ICID第24回総会及び第73回国際執行理事会(IEC)の対応方針(案)

## 1. 全体概要

- 第24回総会及び第73回IECは、2022年10月3日～10日にオーストラリア・アデレードで開催。
- 総会テーマは「持続可能な開発目標を達成するための農業用水管理における革新と研究」。
- IECは、設置されている3つの常任委員会、3つの委員会、4つの地域作業部会、21の作業部会/タスクフォースで議論された事項について、各国内委員会の代表が審議して決議を行う。
- 各委員会や作業部会は、ICID日本国内委員会の委員が分担して対応。
- 今回のIECには、日本国内委員会から渡邊委員長ほか12名の委員及び事務局が参加予定。

## 2. 全体対応方針

- 近年、世界の水使用量が増加する中、持続可能なかんがいの実現が不可欠となっており、特に水田かんがいが有する高い生産性と持続性及び多面的機能に関する日本の知見を各国に提供していくことにより、限りある水資源の有効利用(かんがい効率の向上等)への貢献及び水田かんがいに対する国際的理解の醸成を目指す。
- このため、日本国内委員が、所属する作業部会等に参加し、上記に沿って議論を行うとともに、最新の研究等について情報収集を行う。
- 各国の国内委員会が参加するIECにおいて、ICIDの重要事項を決定する際には、我が国に不利益が生じないよう、情報収集を行い対処する。
- また、本年度で任期満了を迎える副会長(3名)の後任を決める選挙において、3名が立候補している。日本は、1. インド、2. フランス、3. 南アフリカ の序列で投票する。

### 3. 第24回総会への対応

- ・国内委員が論文を提出・発表する他、JICA及びJIRCASがサイドイベントを開催。

#### 【国際ワークショップ論文提出・発表予定者】

- ・渡邊紹裕委員長(京都大学名誉教授)

テーマ: ウォーターレタス栽培で試行した蒸発散ベース灌漑のモデルと性能

- ・加藤亮委員(東京農工大学大学院農学研究院教授)

テーマ: 水環境保全のための低地水田における循環型灌漑方式- 印旛沼水系における自然浄化施設の事例研究

- ・雑賀幸哉委員(サンスイコンサルタント株式会社取締役)

テーマ: かんがい用水の食料生産と水力発電の2重利用

- ・杉浦未希子委員(上智大学グローバル教育センター教授)

テーマ: 日本における社会的な水不足への制度的アプローチ

#### 【カントリーレポート発表予定者】

- ・木村匡臣委員(近畿大学農学部環境管理学科講師)

テーマ: 将来のかんがい排水管理に向けた統合的アプローチ

#### 【サイドイベントの開催予定者】

- ・FAO-JICA共催

テーマ: 受益者中心の灌漑管理—参加型水管理への障害撤廃と追加措置

- ・FAO-JIRCAS-ADB共催

テーマ: 水田の恩恵の最大化—水田の多面的機能と水管理



ICID・CIID

# ICID国際執行理事会 (IEC)

**PCSO** (組織委員会)

**PCTA** (技術委員会)

**PFC** (財務委員会)

**MB** (運営委員会)

**CO** (本部)

**AFRWG**  
アフリカ地域部会

**ASRWG**  
アジア地域部会

**ERWG**  
ヨーロッパ地域部会

**C-CONGR**  
総会組織委員会

**ICID-YPF**  
若手灌漑技術者フォーラム

**AMRWG**  
アメリカ地域部会

**EB-JOUR**  
ジャーナル編集委員会

**WG-HIST**  
歴史部会

**WG-CDTE**  
能力開発研修教育部会

**TF-WWF9**  
WWF9タスクフォース

**WG-VE**  
VE部会

**TF-MTD**  
多言語技術辞書タスクフォース

**WG-ENV**  
環境部会

**WG-SDTA**  
感潮地域の持続開発部会

**WG-MWSCD**  
水不足対応部会

**WG-CLIMATE**  
気候変動部会

**WG-IDSST**  
社会・経済変革期に  
おける灌漑排水部会

**WG-AFM**  
高度洪水管理部会

**WG-WFE-N**  
水・食料・エネルギーネクサス部会

**WG-IOA**  
制度・組織部会

**WG-LDRG**  
農地排水部会

**WG-M&R**  
灌漑施設の近代化と再活性化部会

**WG-IDM**  
灌漑の発展と管理部会

**WG-WATS**  
農業用水節水部会

**WG-RWH**  
レインウォーターハーベスト部会

**WG-NCWRI**  
新たな水資源の灌漑利用部会

**WG-SONFARM**  
持続可能な末端灌漑システム  
開発部会

: ICID日本国内委員  
が所属する部会等

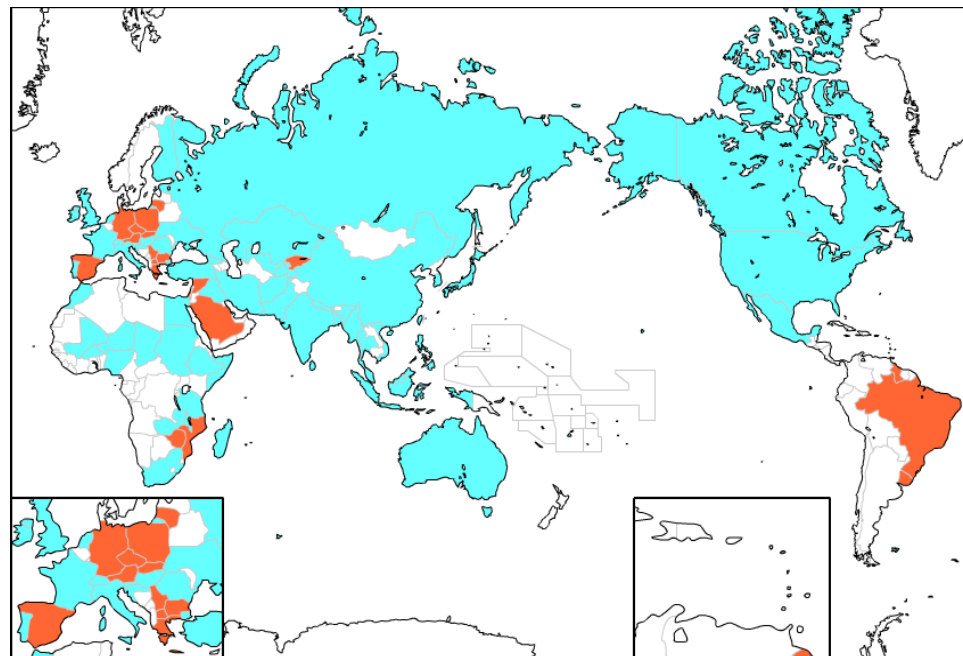
# (参考)ICID日本国内委員会について

○ 日本は ICID日本国内委員会を設置し、1951年にICIDに加盟。日本国内委員会の委員による作業部会等での活動を通じ、我が国と世界のかんがい排水技術の情報を収集・発信し、世界の食料安全保障の確保等に貢献。

## 【ICID日本国内委員会委員】

| 委員名            | 所 属                                            | 役 職         |
|----------------|------------------------------------------------|-------------|
| 奥田 透           | 全国農村振興技術連盟                                     | 委員長         |
| 加藤 亮           | 東京農工大学大学院農学研究科                                 | 教授          |
| 木村 匡臣          | 近畿大学農学部環境管理学科                                  | 講師          |
| 久野 叔彦          | (株)三祐コンサルタンツ                                   | 執行役員        |
| 越山 直子          | 国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所<br>水利基盤チーム               | 主任研究員       |
| 雑賀 幸哉          | サンスイコンサルタント(株)                                 | 取締役         |
| 清水 克之          | 鳥取大学農学部生命環境農学科                                 | 教授          |
| 杉浦 未希子         | 上智大学グローバル教育センター                                | 教授          |
| 辻本 久美子         | 岡山大学大学院環境生命科学研究科                               | 助教          |
| 長野 宇規          | 神戸大学大学院農学研究科                                   | 准教授         |
| 乃田 啓吾          | 岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程                            | 准教授         |
| 福田 信二          | 東京農工大学大学院農学研究科                                 | 准教授         |
| 松野 裕           | 近畿大学農学部環境管理学科                                  | 教授          |
| 皆川 裕樹          | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究<br>機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域 | 上級研究員       |
| 向井 章恵          | 国立研究開発法人 農業・食品産業総合研究機構<br>農村工学研究部門 水利工学研究領域    | 上級研究員       |
| 森 卓            | NTCインターナショナル株式会社                               | 代表取締役<br>社長 |
| 吉川 夏樹          | 新潟大学農学部                                        | 教授          |
| 渡邊 紹裕<br>【委員長】 | 京都大学                                           | 名誉教授        |

## 【ICID加盟国・地域の分布】



:加盟国 58ヶ国・地域  
 :準加盟国 20ヶ国

ICID加盟国・地域数の合計 : 78

うち、アジア・オセアニア地域 28ヶ国・地域

アフリカ地域 17ヶ国

アメリカ地域 6ヶ国

ヨーロッパ地域 27ヶ国

赤字:本年新たに就任いただいた委員。黄色網掛け:今回参加する委員。

# (参考)ICID副会長選について

・本年で任期満了を迎える副会長（3名）の後任を決める選挙に対して、候補者は3名のみであるため投票は3名の候補者の序列を決めるために行われる。

## 会長(任期2020～2023)

|   | 氏名                    | 国名   |
|---|-----------------------|------|
| 1 | Prof. Dr. Ragab Ragab | イギリス |

## 現副会長

|   | 氏名                                    | 国名      | 任期        |
|---|---------------------------------------|---------|-----------|
| 1 | Dr. Mochammad Amron                   | インドネシア  | 2019-2022 |
| 2 | Prof.Dr.Hesham Mostafa Mohamed Ali    | エジプト    | 2019-2022 |
| 3 | Dr. Shavkat Rakhimovich Khamraev      | ウズベキスタン | 2019-2022 |
| 4 | Prof. Choi, Jin-Yong                  | 韓国      | 2020-2023 |
| 5 | Dato' Ir. Nor Hisham bin Mohd Ghazali | マレーシア   | 2020-2023 |
| 6 | Eng. Rafat Nael Al- Intaki            | イラク     | 2020-2023 |
| 7 | Dr. Tsugihiko Watanabe                | 日本      | 2021-2024 |
| 8 | Mr. Aziz Fertahi                      | モロッコ    | 2021-2024 |
| 9 | Mr. Ali Reza Salamat                  | イラン     | 2021-2024 |

## 副会長選立候補者(任期2022～2025)

|   | 氏名                       | 国名    |
|---|--------------------------|-------|
| 1 | Mr. Kushvinder Vohra     | インド   |
| 2 | Mr. Bruno Grawitz        | フランス  |
| 3 | Prof. Sylvester Mpandeli | 南アフリカ |

継続

改選前の地域別副会長数  
○アジア・オセアニア地域 7  
○アフリカ地域 2  
○ヨーロッパ地域 0

# 世界かんがい施設遺産について [報告]

- ICIDは、歴史的かんがい施設を認定・登録する「世界かんがい施設遺産」制度を2014年より開始。2014～2021年にかけて日本の44施設が世界かんがい施設遺産に登録。
- 2022年分の登録に向けて、ICID日本国内委員会は、施設管理者等から応募のあった3施設を選定し、ICID本部に申請(6月)。ICID本部の審査委員会において審査・選定され、10月の国際執行理事会において登録施設が発表される予定。
- 登録により、かんがい施設の持続的な活用・保全方法の蓄積、研究者・一般市民への教育機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに、かんがい施設を核とした地域づくりにも活用。
- 世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会を4月に設立。世界かんがい施設遺産地区関係者、支援団体等が行う地域活性化に向けた取組を支援する。

## 対象施設・登録基準

### 【対象施設】

- 建設から100年以上
- 次のいずれかの施設
  - ①ダム(かんがいが主目的)
  - ②ため池③堰、分水施設
  - ④水路 ⑤水車⑥排水施設等

### 【登録基準】

- かんがい農業の画期的な発展、食料増産、農家の経済状況改善に資するもの
- 構想、設計、施工、規模等が当時としては先進的、卓越した技術であったもの
- 長期にわたり、特筆すべき運営・管理を行ってきたもの 等

## 【2022年にICID日本国内委員会からICID本部に申請した候補施設】



# 世界かんがい施設遺産の登録済み施設 (2014年～2021年)



注) 本資料に掲載した地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではありません。



| 国名    | 登録数 |
|-------|-----|
| 日本    | 44  |
| 中国    | 26  |
| インド   | 10  |
| イラン   | 8   |
| スリランカ | 8   |
| 韓国    | 7   |
| イタリア  | 4   |
| 豪州    | 2   |
| エジプト  | 2   |
| イラク   | 2   |
| メキシコ  | 2   |
| タイ    | 2   |
| アメリカ  | 2   |
| マレーシア | 1   |
| モロッコ  | 1   |
| パキスタン | 1   |
| ロシア   | 1   |
| 合計    | 123 |